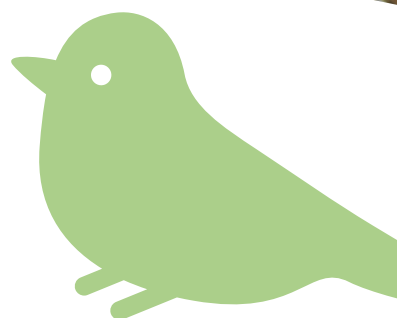


横浜市

野島青少年 研修センター



NOJIMA
Educational Research Center



施設紹介

横浜市野島青少年研修センターは、青少年や青少年指導者・育成者の団体宿泊研修活動を行うために設置した横浜市の施設です。主に小中学校の宿泊体験学習をはじめとした学校利用や、地域の青少年団体の宿泊体験などにご利用いただけます。

1F

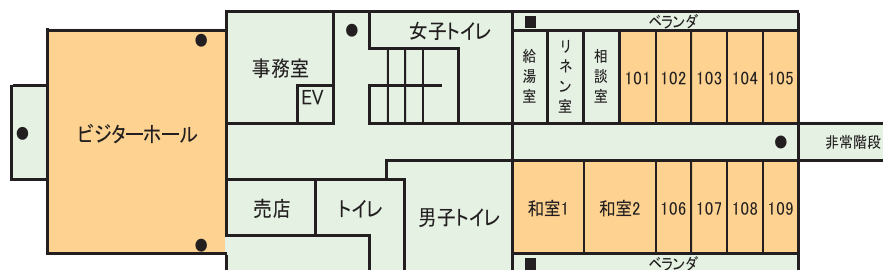
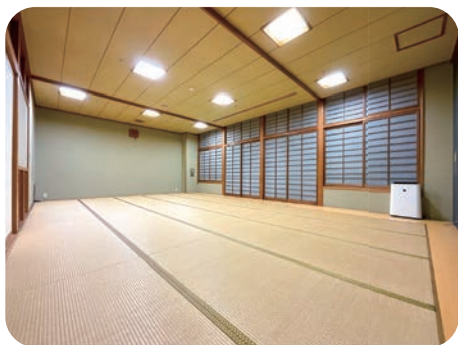
ビジターホール

研修センターの玄関口で、入所式・退所式などの活動や、夜はキャンドルファイヤーなどのプログラムが実施できます。



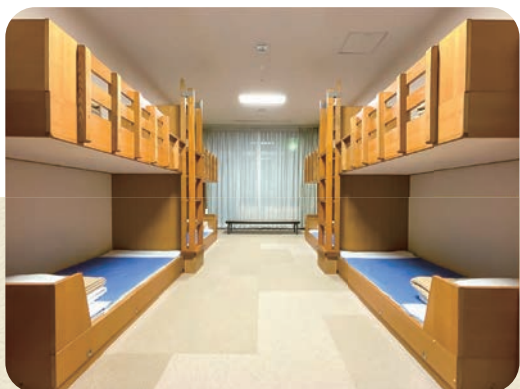
和室

20畳の和室が2室あり、靴を脱いで活動するお部屋です。乳幼児の活動場所や、保健室・スタッフルームとしても活用できます。



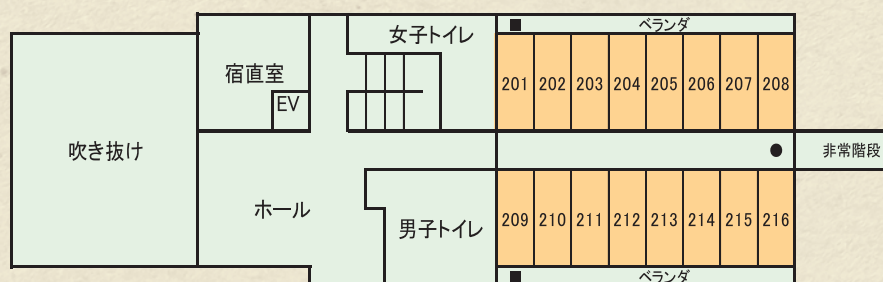
宿泊室

2段ベッドの宿泊室が25部屋あります。また、1階にある2部屋は車椅子乗り入れにも対応しています。



2F

● 非常口
■ 避難はしご



浴室

一日の疲れを癒す大きなお風呂。シャワーが12か所あります。

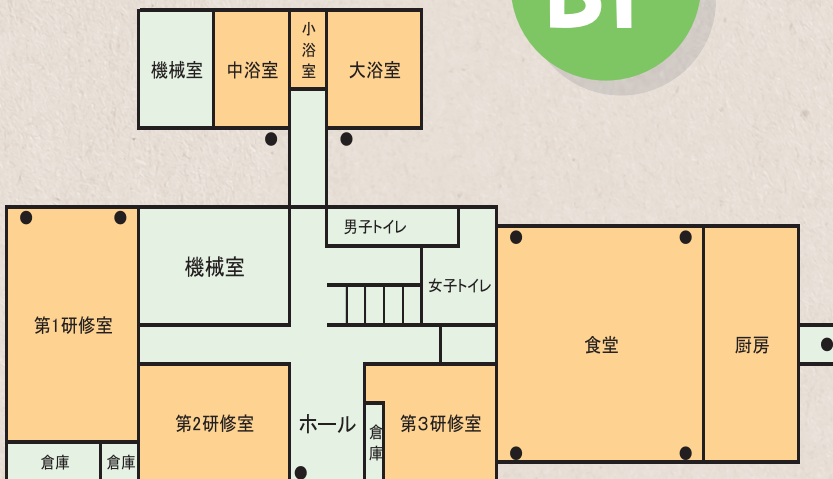


食堂

入所から退所まで使える食堂は、食事だけでなく班活動やクラフトの活動場所としても活用できます。



BF



厨房

こども向けの高さに合わせて厨房台や大人数向けの調理器具・食器類が揃っており、調理実習が可能です。



研修室

利用目的にあわせた研修室が3室あり、様々な研修が可能です。

第一研修室

100人定員。常設のプロジェクターがあり、映像を用いた講義や広い場所でのワークに最適です。



第二研修室

60人定員。カーテンで前後に仕切ることができ、少人数グループの活動や屋外プログラムの着替え場所などに最適です。



第三研修室

30人定員。常設のピアノがあり、音楽活動や音を出す活動に最適です。



施設で体験できるプログラム

研修センターでは、施設利用団体が行う研修活動の支援とともに、利用者に向けた様々なプログラムを用意しています。立地環境を活用したり、宿泊体験だからこそできるプログラムも用意していますので、団体の利用目的や希望に応じて、活動計画に取り入れてみてはいかがでしょうか？

海の活動

歴史ある金沢の海に面した野島海岸は横浜に残された唯一の自然海岸で、沢山の生き物とともに季節ごとに様々な様子が見られます。最も潮が引くタイミングでは海岸線から150mほどの干潟が広がり、生き物観察をはじめとした海に親しむプログラムが楽しめます。

干潟観察

野島海岸の干潟で生き物観察！多様なカニの生息地である野島では、特に春～初秋にかけて昼間に干潟が現れ、生き物観察が楽しめます。



いかだ作り

みんなで作る手作りいかだ体験！グループで協力していかだを組み立て、野島の海に漕ぎ出します。仲間との協力が成功の秘訣！



ビーチコーミング

海に入らずにできる環境学習！潮の流れにより多くの漂着物が流れ着く海岸で、その様子を観察できます。流木や貝殻だけでなく、多くの人工物も観察できるため、環境教育の教材にも適しています。

施設での活動

宿泊時の雨天プログラムのほか、宿泊体験の思い出づくりにもなるクラフトの活動や、じっくりと生き物を観察するプログラムを用意しています。

クラフト

研修センターにある彫刻を模したマスコットづくりや鳥の鳴き声ができるアイテムづくりなど、作り手の個性が光るクラフトを複数用意しています。作るだけでなく、その後に活用するプログラムを取り入れるのもおすすめです。

ちりめんモンスターを探せ！

ちりめんじゃこを用いて、宝探しのように生き物をじっくり観察します。普段口にする生き物も、じっくり観察すると様々な個性を持っていると気づくきっかけになり、自然への興味関心につながるプログラムです。

立地を活かした活動

研修センターが建っている野島公園は、野島海岸と同じく豊かな自然を持つ魅力豊かな公園です。公園内の野島山頂上付近には縄文時代早期の土器が発見された野島貝塚があり、野島山からの景観は「かながわの景勝50選」にも選ばれています。

野島公園フォトラリー

野島公園内の様々なポイントをめぐるウォークラリー。海あり、山あり、史跡ありの野島公園を、写真と地図を持って歩き回ります。





センターの 立地環境

横浜市野島青少年研修センターは、標高57mの野島山を中心とした野島公園のなかにあり、横浜市内唯一の自然海岸である野島海岸や旧伊藤博文金沢別邸をはじめ、自然・歴史学習に活用できる環境がそろう場所にあります。



調理体験

センターは自炊の施設のため、団体でメニューを決めて調理体験を行うことができます。宿泊体験の定番であるカレー作りはもちろん、広い厨房を使って様々な料理にチャレンジしてみませんか？



ナイトプログラム

宿泊体験の夜の時間は特別なもの。仲間といっしょに火を囲むキャンドルファイヤーや、夜の野島公園を歩くだけでも、いつもとは違う体験ができます。

キャンドルファイヤー

夜になれば、正面玄関のビジターホールがキャンドルファイヤー場に早変わり。暗闇のなかでろうそくの火を見つめ、仲間との交流を楽しみましょう。



ナイトウォーク

昼間たくさん歩き回った野島公園も、夜になるとその様子が一变します。普段は家にいる時間、懐中電灯も使わずに、月明かりや風を感じながらの冒険も面白いものです。



野島海岸

横浜市内に140kmほどある海岸線のうち、唯一の自然海岸が残る場所がこの野島海岸です。砂浜・海岸線ともにわずかなエリアですが、カニや貝類をはじめとした生き物の生息地、渡り鳥の渡来地としての様子を見ることができます。また、海洋プラスチックなどの漂着物も多くみられ、環境学習の活動にも適しています。

野島公園

標高57mの野島山を中心とした野島は、歌川広重の浮世絵『金沢八景』に描かれた景勝地のうちの1つです。島の半分が野島公園として整備され四季折々の自然を楽しめるほか、初代内閣総理大臣である伊藤博文の別荘として建てられた旧伊藤博文金沢別邸、市内最古の貝塚である野島貝塚、国内最大規模の掩体壕遺構とされている野島掩体壕など、自然・歴史学習に適した環境も揃っています。

近隣の観光 学習資源

近隣施設のご案内は裏表紙へ

研修センターは最寄りの野島公園駅から横浜駅まで電車で30分の立地であり、観光地である鎌倉や三浦海岸、東京方面での活動も可能です。研修センター周辺にも国指定史跡である朝夷奈切通や浮世絵にも描かれた金沢八景の景勝地、鎌倉・室町時代の文化を残す金沢文庫・称名寺などがあり、ハイキングや施設見学と合わせた様々なプログラムを行うことができます。



申込について

利用できる団体

横浜市内で活動する青少年の団体、および青少年の指導・育成に関わるおおむね20人以上の団体をご利用いただけます。横浜市内外の団体、および青少年に関わる活動を行っていない一般団体もご利用いただけますが、申込時期などに一部条件があります。

利用の条件

おおむね20人以上～最大200人（引率者・責任者含む）までの団体でご利用いただけます。

なお、営利活動、宗教活動、特定の政党もしくは公の選挙に関し特定の候補者を支持する活動を目的とした利用はできません。

一般団体、および横浜市外団体の対応

横浜市内で活動する青少年および青少年の指導・育成に関わる団体の利用を優先し、施設に空きがある場合は同様に利用が可能です。

利用時間

① 宿泊利用 利用開始日の14:00～最終日11:00

② 日帰り利用 [午前] 9:00～12:00 [午後] 13:00～17:00 [一日] 9:00～17:00

※午前または午後の半日利用で12:00～13:00を含む利用の場合は、一日利用となります

利用料金

① 宿泊利用

	高校生以下 および その引率者	25歳未満 および青少年指 導者・育成者	その他
料金(人)	600円/泊	1,200円/泊	2,400円/泊

※団体の利用目的、活動内容により料金を決定し、団体内で一律です。一概に利用者個人の年齢によるものではありません。

② 日帰り利用

利用場所	利用時間帯			
	午前 9:00～12:00	午後 13:00～17:00	一日 9:00～17:00	
第一研修室	9,100円	12,100円	21,200円	
第二研修室	全面	5,000円	6,800円	11,800円
	半面	2,600円	3,400円	6,000円
第三研修室	4,400円	5,800円	10,200円	
和室(1部屋あたり)	1,400円	1,800円	3,200円	

※日帰り利用について、青少年団体および青少年指導者・育成者団体の利用時には利用料金の減免措置があります。詳細はセンターへお尋ねください。

※日帰り利用で厨房を利用する場合、別途厨房利用料(50円/人)がかかります。

一般利用の申込方法

① 宿泊利用

1. 横浜市内で活動する青少年団体、および青少年指導者・育成者団体

利用予定月3ヶ月前の1日～第2土曜日まで、抽選会申込を受付

利用予定月3ヶ月前の第2日曜日に抽選会を実施し、抽選にて利用日決定

(抽選会以降のお申込みは、下記2.と同様)

2. 上記以外の団体

利用予定月3ヶ月前の利用抽選会終了翌日から利用予定日2週間前まで、先着順で受付

② 日帰り利用

利用予定日4週間前から2週間前までの期間で、施設に空きがある場合のみ先着順で受付

学校行事としての施設利用

利用前年の秋ごろ～予定月4ヶ月前の月末まで受付

★一般利用とは異なりますので、詳細はセンターへお問合せください。

申込から当日までの流れ

	● 前年秋頃	● 利用3ヶ月前	● 利用1ヶ月前	● 利用2週間前	
学校利用	利用申込		事前打合せ会		
宿泊市内青少年		抽選会申込	先着順申込	事前打合せ会	先着順申込(空き枠分)
宿泊一般			先着順申込	事前打合せ会	先着順申込(空き枠分)
日帰り				日帰り利用先着順申込(空き枠分)	利用当日

利用モデルケース (利用人数 120 人の場合)

学校利用(宿泊体験学習)で海活動を実施するケース

● スケジュール

1日目	09:30	研修センター到着
	10:00	体験プログラム実施(A班:海活動プログラム/B班:野島公園フォトラリー) ★
	12:00	昼食
	13:00	体験プログラム実施(A班:野島公園フォトラリー/B班:海活動プログラム)
	16:00	入所式、ベッドメイク、部屋別活動
	17:30	夕食 ☆
	19:00	キャンドルファイヤー
	20:00	入浴
	21:30	就寝準備
	22:00	就寝
2日目	06:00	起床・清掃・リネン返却
	06:45	朝のつどい
	07:30	朝食(ケータリング)
	08:15	清掃、荷物移動
	09:00	体験プログラム実施(ビーチコーミング)
	10:30	退所準備
	11:00	退所式
	12:30	研修センター出発

★野島海岸で実施するプログラムは潮位により、干潟観察やいかだ作りなどが体験可能です。(着替えが必要な海活動は原則1日目に実施となります)

☆自炊のほか、ケータリング等で食事を準備することも可能です。

宿泊にかかる費用の合計 1人あたり ¥3,959

内訳	宿泊費	600円
	体験プログラム参加費(「いかだ作り」「ビーチコーミング」参加費)	1,300円 ^{※1}
	日帰り利用料(第一・第二研修室 午前利用 減免あり)	59円 ^{※2}
	食費(ケータリング)	2,000円
	夕食:カレーライスセット 朝食:サンドイッチ、ヨーグルト、ジュース 飲物:ペットボトルお茶	950円 730円 320円

※1 体験プログラム参加費、食費は2024年度現在の金額です
 ※2 日帰り利用料金は部屋単位での金額のため、利用人数により変動します。

研修センター以外の場所でメインの活動を行うケース

● スケジュール

1日目	来所前	八景島シーパラダイスで水族館見学	
	14:30	研修センター到着、入所式	
	15:30	夕食づくり ★	
	17:30	夕食	
	19:00	キャンドルファイヤー	
	20:00	入浴	
	21:30	就寝準備	
	22:00	就寝	
	2日目	06:00	起床・清掃・リネン返却
		06:45	朝のつどい
07:30		朝食(ケータリング)	
08:00		清掃、荷物移動	
08:45		退所式	
09:00		研修センター出発	
退所後	朝夷奈切通し～鎌倉ハイキング		

★厨房台が6台あり、大人数での調理体験ができるめったにない機会です!

こんなプログラムもおすすめ!

少し足を延ばすと金沢八景の景勝地、三浦方面や東京方面の活動も可能です。

宿泊にかかる費用の合計 1人あたり ¥1,950

内訳	宿泊費	600円
	食費	1,350円 ^{※1}
	夕食:カレーライス、サラダ、フルーツポンチ	600円
	朝食:おにぎり弁当、けんちん汁	700円
	飲物:麦茶	50円

※1 自炊の場合の食費は目安です

